



The future

YUMENBO

発行

NPO法人夢んぼ

愛西市町方町大山田 61-1

(0567) 25-5913

Email: yumenbo@s6.dion.ne.jp

URL: <http://yumenbo.org>

15周年を迎える今年、節目の年に思うこと

理事長 菊池 利哉

新年度のはじまりです。子どもたちは、進級、進学と慌ただしく新生活の準備に期待と不安が交差する季節です。

さて、本年度はNPO法人夢んぼ設立から15年の節目の年です。厳密に言うと平成14年7月22日に任団体夢んぼとしてはじまり、平成16年11月25日にNPO法人夢んぼを設立しました。従って活動そのものは17年。

行政で働いていた私が、長男一希の誕生。そして、障害の告知をされたことで事業開始を決意した。「子どもたちの将来を・・・」ただそれだけで起業した。後先も考えず、不安も無ければ自信もない。お金もなければ、希望もない。とにかく、子どもたちの将来を・・・それだけ。

行政に行けば、新しい法人は仲間外れ、銀行にいけば門前払い。関係機関の会議には声もかけてもらえず、でもそれが有難かった。福祉事業そのもののレベルを肌で感じる事が出来た。福祉そのものに差別や偏見・仲間はずれがあることを知った。子どもたちを守る為には、突破しなければならない壁が沢山あることに気づかせてもらった。

一方で「本当に教えることは学ぶこと」福沢諭吉の言葉の通り、子どもたちはいろんなことを教えてくれる。なぜ泣くのか？なぜ飛び跳ねるのか？なぜ抓るのか？なぜ叩くのか？なぜの奥にある意味は夢んぼの教育方針やプログラムを築き上げてくれた。

職員もまた、壁にぶつかり、氣力を失い、時に同僚や上司と戦い、その都度考え行動してくれたことで夢んぼの理念を築いてくれた。

そしてこの15年で夢んぼが学んだことは、「福祉がどうあるべきか？」ではない。「障害のある人の将来をどう考えるか？」ひとりひとり異なる障害と生活環境・家族構成、その子にあった将来とは「福祉」ではなく「社会」であるということ。

4月から始まる、新たな就労の取り組みは、大手企業との共業です。福祉だけで子どもたちは守れない。社会と共に守る仕組みの構築を果たすことが夢んぼの新たなスタートになる。

まだまだ、未完成の夢んぼを応援して下さっている保護者の皆様、関係各機関の皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。今後とも夢んぼ、理事・職員一同、学びの姿勢を忘れず全力で取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

4月1日オープン 第2ワークステーション夢んぼ

竣工式



3月5日(火) 第2ワークステーション夢んぼの竣工式を無事執り行うことができました。建設にご協力いただいた関係者の皆様、これまでご支援いただいた皆様には、厚く御礼申し上げます。4月1日(月)から、地域活動支援センターがスタートします。

仕事紹介

東レ・テキスタイル株式会社

東レ・テキスタイルで製造している糸を巻くための『紙管(紙でできた管)』のリサイクル業務を行います。紙管は一度使うと傷が付いたり、劣化してしまうため、再利用するための業務をご利用様が担います。



株式会社ボンマックスアパレル

お店などに並んでいるプリント T シャツのタグ付け業務を行います。ミシンを使ってタグを付けた後は、手作業で折りたんで専用のビニール袋に入れる梱包の工程も任せていただきます。



クリップ入れ

自動車部品の一部として使用されます。



凝固剤の袋詰め

災害時にトイレの凝固剤として使用されます。



刺しゅう
ポロシャツ
やタオル
などへの
刺しゅうを
行います。

1階では、東レ・テキスタイルとボンマックスアパレルの仕事を行います。2階では、従来の地域活動支援センターWS 夢んぼで実施していた、『自動車部品のクリップ入れ』『凝固剤の袋詰め』『夢んぼオリジナル事業の刺しゅう業務』を行います。

ご来場ありがとうございました

第4回夢んぼ写真展・作品展 & 第2ワークショップ夢んぼ内覧会

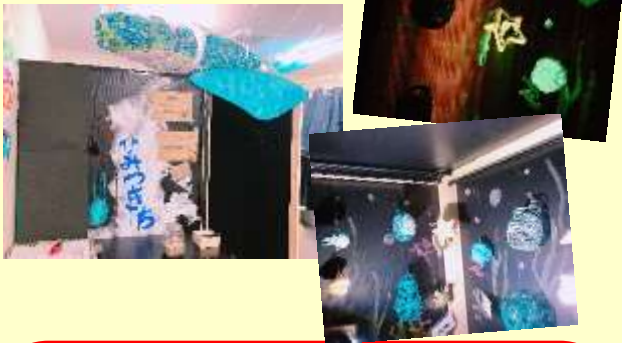
3月3日(日)『夢んぼ写真展・作品展』『第2ワークショップ夢んぼ内覧会』を開催しました。
当日は、300名を超える大変多くの皆様にご来場いただくことができました。夢んぼの活動をご覧いただいたこと、嬉しく思っております。イベント後に実施したアンケートには、たくさんメッセージをいただきましたので、一部紹介させていただきます。当日の様子も併せてご覧ください☆

作品展

- ◇工夫して作っており、とてもきれいでした。個々の物が集まると迫力が感じられます。100円均一の商品もいくつかありましたが、こんな風にするんだと使い方に驚きと感心でした。
- ◇子どもたちの個性を感じられて良い作品展だった。
- ◇細かい作業や今どきの流行りなど上手に取り入れられていて、個性ある作品に仕上がっていました。



- ◇子どもが一生懸命作品を作っているのだと胸が熱くなりました。
- ◇色々な工夫がある作品ばかりで素晴らしい。職員の皆さんの愛情が感じられました。
- ◇色々挑戦しているんだなと思いました。



- ◇こんな素晴らしい作品が作れるようになってビックリです。
- ◇素敵な作品ばかりで、持ち帰ってくれたら、すぐに飾りたいものばかりでした。
- ◇なかなかプロ級のもの(木製郵便受け)もあって、すごい!!と感じました。



- ◇自分の子の作品以外にも沢山の作品を見て、それぞれの個性があり、一生懸命作った作品なんだなと思いました。
- ◇ライトをあてて暗い中で光る作品が良かったです。
- ◇観るだけでなく触れて遊べるもの(サッカー)があっておもしろかったです。



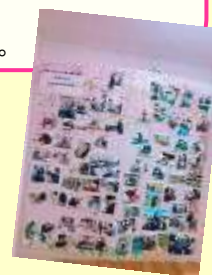
写真展

- ◇素敵なショットばかりで感動しました。
- ◇「どうしてこんな良い表情が撮れるの？」という素敵なものが多くて！皆さんにこやかな笑顔の写真ばかりで良かった。
- ◇家では見られない姿や様子が見られて良かった。



- ◇多くの写真が飾られ、見ごたえがありました。
- ◇真剣に取り組んでいる様子が見られて嬉しかったです。
- ◇子どもたちの楽しさが写真に表れていました。
- ◇生き生きとした表情がまぶしかった。

- ◇普段ではなかなか見られないピュアな笑顔が見られました。
- ◇仕事の際は真剣に、遊ぶ時は心から楽しんでいる様子が伺えました。
- ◇本人は写真を見ることが好きなので、色々なことを思い出して終始ニコニコでした。今回も楽しめたようです。



第2 ワークステーション 夢んぼ内覧会



- ◇大変美しくシンプルに。そして、細かいスペースなども手が行き届き・・・見ているだけでワクワクします。
- ◇清潔でぬくもりのある内部でホッとします。
- ◇大手企業さんのお仕事も入って、ますます仕事に励んでくれることと思います。

- ◇どんな子、どんな人であっても一人の人間として生きていくために尊重されていると思いました。
- ◇こんなにも多くの企業の仕事をしているとは思いませんでした。
- ◇きれいで明るい室内で作業などがしやすいと思いました。



～写真展・作品展を終えて～

作品の制作、写真の準備、何を展示する？レイアウトはどうする？などなど…

1年をかけて様々な準備をしてきた職員に、イベントを終えた感想を聞いてみました！

第2 夢んぼでは『四季』をテーマに個人作品だけでなく、年代を超えて力を合わせ壮大な作品たちを披露することができました。保護者の皆様に子どもたちの「できた！」をお伝え出来たこと、「すごいね☆」と褒められて誇らしげな子どもたちを見られたことがとても印象的な作品展になりました。（南波衛汰）



作品展でお披露目した作品は日々の活動で培ったものが表現できたと思います。子どもたちと共に喜び、作り上げた気持ちを共感できたことを、今回の作品と写真を通してご家族のみなさまにお届けできたと思います。これからも根気よく子どもたちの成長に寄り添っていきたくと思っています。（金田真有美）



展示に向けて準備を進めてきて、ご利用者様の作品を多くの方に見てほしい、作品を目立たせる見せ方も工夫しました。前日も見やすい高さ、置き方一つにもこだわり、職員と話し合っ進めました。当日は多くの方に来場していただき、ご利用者様の素敵な作品を見ていただけ、手に触れ、その場で「素敵」など言葉をいただけとても嬉しかったです。ご利用者様の普段では見ることができない姿、違う一面、作品展を通じて感じることができとても良い経験をさせていただきました。（小山雅裕）



作品は指先を使って集中力を高めることや道具の使い方を知る、色々な素材に触れ選ぶことや表現する楽しさを感じる、みんなと一緒に作ることで達成感を感じるなど「つくる」を通して色々な経験をしています。「こんな風に頑張っていましたよ」と直接お話することができた事や、写真で活動の様子をお伝えすることができ嬉しく思います。来年はよりたくさんの方に見て頂けるようソーシャルセンター夢んぼのみんなと一緒にチャレンジしていきたいと思っています！（山村翠）



写真展・作品展はご利用者様・ご家族の方はもちろん、職員も楽しみにしているイベント。写真を貼りながら、普段のご利用者様の楽しそうな表情、頑張っている姿をみて準備にも力が入ります。当日は、たくさんのご利用者様の笑顔をみる事ができとても嬉しかったです。（井上亜美）

いつも作業をしている姿とはまた違う一面を見ることが出来ました。ご家族の方々と一緒にいて楽しそうな表情や、ご利用者様がご家族に一生懸命説明している姿などとても印象に残っています。また、ご家族の方とお話が出来るいい機会になりました。（舘愛美）

作品展、写真展が行われる前から、ご利用者様同士で今年は何んな風だろうかと毎日のように楽しそうに話をされていました。当日は多くの方に来ていただき、「楽しかった」「〇〇の作品がすごかった」などたくさんのご感想を聞くことができ、携われたことを嬉しく思いました。（金田雅人）

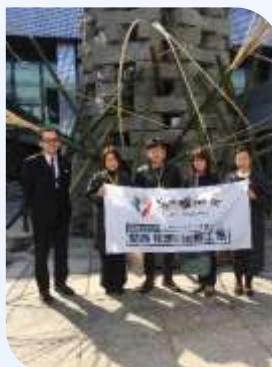


積水ハウス 見学会に参加してきました

～暮らしは品質～

2月26日（火）積水ハウス株式会社『総合住宅研究所 関西 住まいの夢工房』見学会に参加しました。安心の暮らしを守るために、住まいの隅々にまで施された工夫や地域、社会と響きあう暮らしに至るまで多くの学びと発見がありました。

住まいは、1日の半分以上を過ごし、生涯にわたって暮らす大切な場所です。建物や環境の品質一つ一つが、その人の暮らしを大きく左右します。今後、夢んぼがグループホームの建設を考える時、「暮らしの品質」を大切にしていきたいと思います。



事業所の定員変更のお知らせ

平成31年4月より、利用定員を下記の通り変更することとなりました。

◇放課後等デイサービス

- ・ソーシャルセンター夢んぼ 変更前 20名 → 変更後 10名
- ・ワークステーション夢んぼ 変更前 10名 → 変更後 20名

◇地域活動支援センター

- ・地域活動支援センターWS 夢んぼ 変更前 15名 → 変更後 20名

ホームページにて、児童発達支援と放課後等デイサービスの追加受け入れ可能人数をお知らせしています。利用希望日以外でも追加利用が可能な場合がありますので、是非ご活用ください。なお、定員に達した場合は、追加をお受けすることができませんので、ご了承ください

4月の夢んぼ相談日

日時：平成31年4月23日（火）10時30分から18時の間

*電話やメールにて予約時間を決めさせていただきます

『夢んぼ相談日』の開始から、8ヶ月程が経ちました。これまでに、年金についてや進路について、成年後見制度、建築についてなどの相談がありました。この他にも、保険について、実習について、夢んぼ顧問弁護士や司法書士への相談も可能です。お困りごとなどありましたら、お気軽にお問い合わせください。

ご予約・お問合せ先

夢んぼ事務局 加藤

TEL：0567-25-5913

E-mail：yumenbo@s6.dion.ne.jp